

欧州マーケットビュー

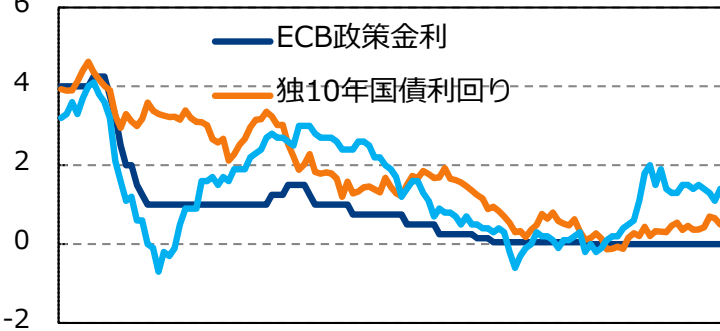


- ユーロ圏の2017年10-12月期実質GDP成長率（確報値）は前期比年率+2.4%と改定値から変わらず、輸出主導で堅調に推移しました。
- ECBは3月理事会の声明文で、「インフレ見通しが悪化した場合は資産購入を拡大する可能性がある」との文言を削除しました。依然として緩和政策は必要との見方ながら、資産購入プログラムを縮小する姿勢を徐々に示しているとみられます。

金利とインフレ率

ECB政策金利は0%で据え置かれており、ユーロ圏の物価や長期金利は低位で安定しています。

(%) (2008年1月～2018年3月)

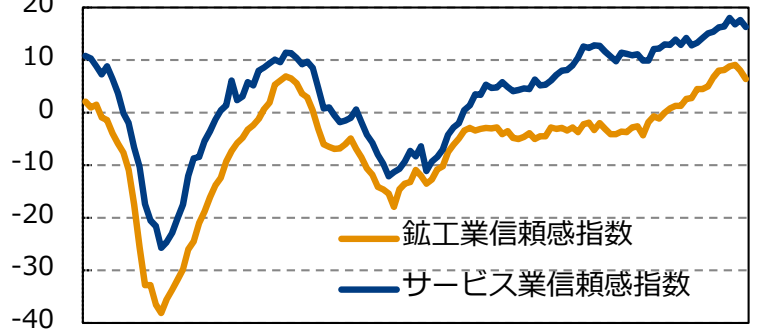


2008年 2010年 2012年 2014年 2016年 2018年

企業景況感

鉱工業信頼感指数、サービス業信頼感指数ともにプラス圏での推移が続いており、企業景況感は良好です。

(2008年1月～2018年3月)

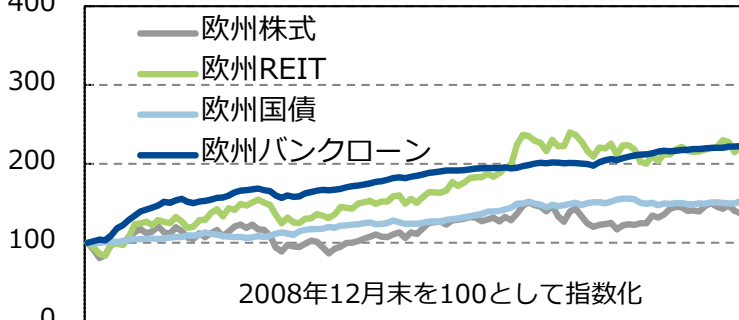


2008年 2010年 2012年 2014年 2016年 2018年

欧州各資産の推移

2008年12月末からの欧州各資産の推移をみると、欧州バンクローンの安定した推移が確認できます。

(2008年12月末～2018年3月末)

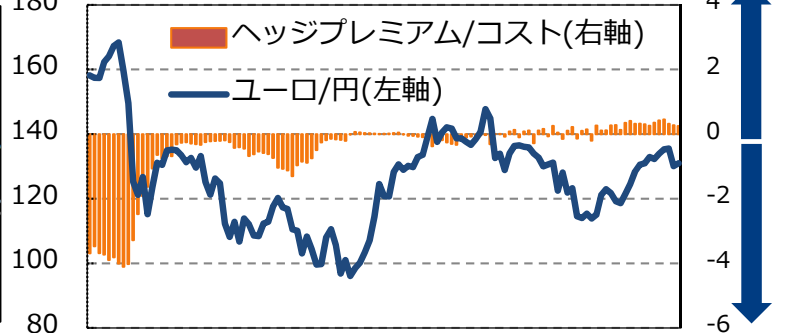


2008年 2010年 2012年 2014年 2016年

ユーロ/円及びヘッジプレミアム/コスト

足もとでユーロより日本円の金利が高い状況が続いており、ユーロ円はヘッジプレミアムが生じています。(2018年3月：0.25%)

(円) (2008年1月～2018年3月) (%)



2008年 2010年 2012年 2014年 2016年 2018年

各種データをもとに大和住銀投信投資顧問作成

※為替ヘッジプレミアム/コストは直物為替レートと期日1ヶ月後の為替予約レートとの価格差（月間平均値）から簡便法により算出

※使用したインデックス

欧州株式：ユーロストックス50指数、欧州REIT：FTSE EPRA/NAREIT Developed Europe Index、欧州国債：FTSE欧州国債インデックス、欧州バンクローン：クレディ・スイス・ウェスタン・ヨーロッパ・レバレッジド・ローン・インデックス

■当資料は情報提供を目的として大和住銀投信投資顧問が作成したものであり、特定の投資信託・生命保険・株式・債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料は各種の信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料に記載されている今後の見通し・コメントは、作成日現在のものであり、事前の予告なしに将来変更される場合があります。■当資料内の運用実績等に関するグラフ、数値等は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。■当資料内のいかなる内容も、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。